

令和7年度 社会福祉法人めだかすとりいむ事業報告

【法人の理念と運営方針】

理念『せっかく生まれてきた一度きりの人生をこの街の中で一緒に豊かに生きていきたい』
この想いを具体的に一つ一つ形にして支え続けていきます

運営方針

- ・就労支援・一生懸命に働くことを通しての社会参加を支える
- ・生活支援・地域の中で自分らしく豊かに暮らすことを支える
- ・余暇支援・好きなこと・趣味を見つけて楽しむことを支える
- ・子育て支援・発達の違いや心配のある子供たちの療育と地域の中での子育てを支える

この4つの支援を充実させることによって、障がいのある方の地域での生活を支えていきます

令和7年度 重点目標の振り返り

『理念と経営のバランスを考え、安定した事業の運営を行う』

令和7年度は、法人理念を大切にしながらも安定した経営状況を継続することを考えながら運営した一年でした。

経営状況は、令和6年度の決算よりは厳しい状況です。

要因としては

- ① 各事業所の利用率の低下
- ② 物価高騰の影響での支出の増大 があげられます。

特に児童発達支援事業所の利用状況が厳しく、今後対策を講じる必要があります。

『すいーつばだけ利用者と保護者の安心した生活の継続を支援する』

『親なき後』の課題について、保護者の方と話し合う機会を設けました。

保護者の意向を知るために『すいーつばだけ親の会』としてアンケートの実施をしたり、今後、成年後見制度やグループホームの見学など、親の会主催の勉強会を共催するための検討をはじめました。

また、法人として「利用者の将来について」を相談する場所を明確にするとともに、都度必要に応じて情報提供していくことも保護者に周知しました。

1. 社会福祉法人の経営の安定化

経営の安定をはかるために、利用児者の確保に努力してきました。

児童発達支援事業所の利用児者が卒園、幼稚園との併園などの事由から減少傾向にあります。

HPの開設、関係機関への相談などを実施してきましたが、効果は今後に期待したいと思います。

また、物価高騰に伴う支出増に対応するため、経費節約の意識の共有や原材料などの高騰に対応するための価格改定などを実施しました。

2. 人材育成、研修

- ・職員面談を実施しました。

令和6年度の面談時に設定した個人目標に対し、職員と上長が面談を実施し振り返りと目標設定を行いました。職員が将来自分のなりたい姿をイメージすることができ、職員自身のモチベーションにつながっています。

- ・職員のキャリアパスをさらに明確化し、職員に周知、説明しました。

各職員層の役割の明確化、必要なスキルや能力を改めて整理したことで、各職員の役割や目標設定が明確になりました。

- ・各研修を体系的に実施しました。

3. リスクマネジメントの強化

各事業所ごとにミーティングなどでリスクマネジメントの話し合いを重ねました。

「ひやりはっと」を共有し、有事の対応策を話し合いました。それらをBCP（事業継続計画）に活かせるように適宜見直しをしてきました。

4. 委員会の充実

以下の各委員会を定期開催しました。

- ・給食委員会
- ・感染症対策委員会
- ・虐待防止、身体拘束適正化委員会
- ・安全衛生委員会

5. 理事会・評議員会の定期開催

【理事会】

- 第1回 6月12日（決算）
- 第2回 6月27日（GH地代について）
- 第3回 8月5日（GH地代について）
- 第4回 8月25日（GH地代について）
- 第5回 3月6日（予算）

【評議員会】

- 第1回 6月27日
- 第2回 3月27日

【評議員選任・解任委員会】

令和7年度は役員改選年度にあたり、評議員改選に伴い『評議員選任・解任委員会』が開催されました。

6月13日

6. 運営協議会の開催

11月15日

職員の人材確保、SEL P秋祭り、すいーつばたけの売り上げ向上について活発な意見交換がされました。

7. 助成金の活用

日本財団の助成金で日産セレナ購入（送迎車用）⇒令和8年3月納車

8. すいーつばたけの消防設備機器のリニューアル

SEL Pすいーつばたけ設立当初から使用している消防設備機器（20年経過）の交換を実施しました。

9. 事業所別実施計画

すいーつばたけ

・ 利用者工賃

令和7年度は、月額工賃は通常時の8割支給となりました。ボーナスに関しては、5割の支給になりました。授産製品の収益と利用者への支払い工賃は、同等額にする必要があるため、年度末に収支の見通しがたった段階で過不足があったため利用者へ年度末手当を支給しました。

・ 利用者の高齢化・重度化に伴う課題

利用者の中には、年齢を重ね日々集中して仕事に取り組むことが難しくなってきた方がいます。その方に合った日中活動の場所を模索するために、プロジェクトチームを招集し話し合いを重ねました。「しっかり仕事をし、しっかり休む」をキーワードに、働き方の多様化への取り組みを始めました。

・ 授産製品の売り上げ

令和7年度は、授産製品の売り上げがアップしました。特にパン部門の売り上げが好調でした。川口市立高校での販売方法の工夫や文化祭での販売など売り上げをあげてきました。

・ 他機関との連携の強化

利用者一人一人が、特定相談支援事業所の相談支援専門員に思いを伝え、情報共有しながら、将来に向けて、利用者自身が望む地域生活を送れるように、他機関との連携に努めました。

グループホーム

- ・ 医療への受診同行
かなりの頻度でGH職員が医療受診同行するようになってきています。
医療情報を日中活動場所の職員や看護師とも共有し、よりよい支援に繋がりました。
高齢化による認知機能や体力の低下に伴い、どのような支援が適しているのかスタッフミーティングなどで話し合い、実際の支援につなげています。
- ・ 余暇活動
一人一人に合わせた余暇の過ごし方を考えました。ご本人の希望を聞き取り、ヘルパー利用や職員との外出、各GHごとの外出などをしました。
- ・ 世話人の人材確保
令和7年度も人材確保には苦労した一年でした。人材募集会社の活用や研修の実施など、世話人確保と支援の質の向上に努めました。
- ・ GHの地代について
地主との交渉の結果、メゾンめだか沙羅の木の地代に関しては社会情勢を鑑み値上げしました。

相談支援センターめだか

- ・ 新規の相談者より依頼が来続けています。丁寧に相談に応じているため職員の業務に負担がかかったため、1名の常勤職員を採用しました。
- ・ 他機関との連携を引き続きおこないました。
- ・ 令和7年度は、計画相談の支援費収入が増収となりました。一人一人の思いに寄り添った「サービス等利用計画」を作成し、丁寧な支援をしました。

地域活動支援センター「めだかSUN」

- ・ 市内各所の相談支援事業所から利用の相談を受けることが数件ありました。
- ・ 相談支援センターやグループホームと情報交換を密にし、連携して利用者の生活を支えています。
- ・ 令和7年度も地域の園芸事業所（前島植物園さん）と一緒に花壇の花植えをしました。
- ・ 利用者の「わくわくボーナス」増額の取り組みを続けています。

居宅介護事業所「ぐー・ちょき・ヘルパーMICS」

- ・ 依頼時間は昨年度より若干減少しましたが、GHに入居している方や新規の利用者の依頼が増えている傾向にあります。
- ・ 新規の登録ヘルパーが増えました。依頼の同行や研修を経て、登録ヘルパーが独り立ちすると依頼時間が増えることが期待できます。
- ・ 川口市内外の相談支援センターに相談をし、ご本人の都合でキャンセルにはなりましたが新規の依頼がありました。

児童発達支援事業「めだかのいっぽ」

- ・ 卒園児と幼稚園との併園（就学を見据えた年長児の取組）をする児童が増えたため、利用児童が減少しました。
- ・ 保育士などスタッフは充足しています。
- ・ 就学前相談や学校訪問など、熱心に取り組みました。
- ・ 関係機関に新規利用児童の問い合わせをしたり、HP で日々の活動をアップしたりして新規利用児童の確保に努力しました。
- ・ 言語聴覚士による定期的な個別相談会や個別療育の継続
- ・ 親子登園やその他、理念を継続しながらも取り組めることを模索しています。

放課後等デイサービス「めだかのいえ」

- ・ めだかのいえ開設時、小学校入学と同時に利用を開始した児童が令和 8 年 4 月に中学生になりました。中学生専用のプログラムや新たな取り組みを始めます。
- ・ スタッフの人材不足が続いています。
- ・ 引き続き、送迎車の安全走行の徹底を図りました。
- ・ 新規の送迎車の購入をしました。
- ・ 待機児童への利用打診をし、新規利用につなげました。
- ・ 高等部（戸田かけはし特別支援学校）への移行についても引き続き話し合いをすすめています。

10. 地域との結びつき

- ・ じゃがいも収穫祭 【6月6日（土）】
川口ライオンズクラブ、ハーモニー支部等のご協力で楽しいじゃがいも収穫祭を開催することができました。
めだかのいっぽやめだかのいえの利用児童、きょうだい、家族が参加しました。
- ・ 小学生福祉教育 【8月1日（金）】
安行東小学校の 30 名の生徒さんの参加がありました。人気のイベントで、申し込み開始当日に定員に達しました。
- ・ 地域包括支援センターとの連携「ふらっと（認知症）カフェ」
定期的にコミュニティルームで開催されました。
- ・ SELP 秋祭りの開催 【9月27日（土）】
地域の大勢の方が来園してくださり、大盛況の秋祭りでした。
キッチンカー、各部門の模擬店、理事長率いるコーラス隊、イベントなど盛りだくさんの内容でした。
- ・ 街たんけん（小学生）、夢わーく（中学生）の受け入れ

11. NPO めだかふぁみりいとの連携

めだかふぁみりいの理念を大切に活動を持続するために、協力し合い活動しました。